

**みやぎNPO夢ファンド（B）ステップアップ支援プログラム  
平成 21 年度助成事業 最終報告書**

2010年 3月 30日

団体名	特定非営利活動法人ほっぷの森
事業名	高次脳機能障害者と家族の支援ネットワークづくり事業
<p><b>■平成 21 年度事業内容</b>          本事業の 1 年目である本年度は、実態のつかめていない宮城県内の高次脳機能障害者と家族の現状把握のため、調査票によるアンケート調査の実施とご家族へのグループインタビュー調査の実施。</p> <p><b>■調査票によるアンケート調査</b></p> <p>○内容          高次脳機能障害のご本人とご家族を対象とした調査票によるアンケート調査</p> <p>○調査票の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県の障害福祉課及び各圏域の保健福祉事務所、石巻市、栗原市、東北厚生病院、障害者就業・生活支援センターLink 等のご協力を得て、下記の各保健福祉事務所や石巻市等で行った研修会及び家族交流会にてアンケート調査票の配布を行った。参加した介護事業所や福祉サービス事業所等に、関係している当事者・ご家族に渡して下さるように呼びかけを行うとともに、参加していた当事者・ご家族に配布、協力をお願いをした。</li> </ul> <p>9 月 気仙沼保健福祉事務所 高次脳機能障害研修会          石巻市 高次脳機能障害家族交流会</p> <p>10 月 北部保健福祉事務所栗原地域事務所 高次脳機能障害研修会          東部保健福祉事務所登米地域事務所 家族交流会          北部保健福祉事務所（大崎） 高次脳機能障害研修会          宮城県高次脳機能障害リハビリテーション講習会（会場：仙台）</p> <p>11 月 気仙沼保健福祉事務所 家族交流会          北部保健福祉事務所栗原地域事務所 家族交流会          東部保健福祉事務所（石巻） 高次脳機能障害研修会</p> <p>12 月 仙南保健福祉事務所 家族交流会          登米高次脳機能障害研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙沼保健福祉事務所では窓口にもアンケート調査票を配布していただいた。</li> <li>・仙台市障害者更生相談所のご協力を得て、更生相談所及び各区役所の相談窓口と民間の相談事業所にアンケート調査票を 150 部配布していただいた。</li> <li>・仙台市内で高次脳機能障害者を受け入れ実績をもつ雲母倶楽部、ビートスイッチにご協力いただき、関係している当事者・家族に配布をお願いした。</li> <li>・Web によるアンケート呼びかけ・・・CANPAN ブログをしようし、10 月よりブログ開設。個人情報保護のため、アンケート回収方法は暗号私書箱を利用。</li> </ul>	

- ・ 11月5日河北新報朝刊に大きく記事が掲載された（添付資料参照）。5件の問い合わせあり。
- ・ 最終の回収締切日は平成22年1月15日。

○配布及び回答数

配布数 400部 回答数 本人63部 家族63部

■家族へのグループインタビュー調査

○内容

高次脳機能障害のある方のご家族を対象に、これまでの経緯や抱えている思いなどを直接にインタビューし調査する。

○実施方法と状況

- ・ 宮城県を網羅するように7圏域すべてでインタビュー調査を行うことを目指し、各保健福祉事務所の協力を得て、各地での研修会や家族交流会にてグループインタビュー調査への参加呼びかけを行ったほか、保健師の方が直接ご家族へ呼びかけてくださった地域もあった。
- ・ 7圏域すべてで実施。合計24名の参加があった。

各地の開催日と参加人数は下記のとおり。

11月25日 石巻 5名  
 29日 気仙沼 4名  
 12月11日 仙南 2名  
 13日 栗原 3名  
 17日 仙台 6名  
 19日 大崎 1名  
 22日 登米 3名

■調査結果集計及び報告書作成

○アンケート調査票集計

2月から3月にかけて回答された調査票を集計。グラフ作成し考察を行った。

○グループインタビュー調査のまとめ

12月にグループインタビューのテープ起こしし、1月に粗編集。その原稿を各保健福祉事務所にご協力いただき、2月中旬にはグループインタビュー参加者全員に確認が終了。

3月、24名のプロフィールとして参加者の家族の受傷経緯などをまとめ、テーマごとに発言を編集。

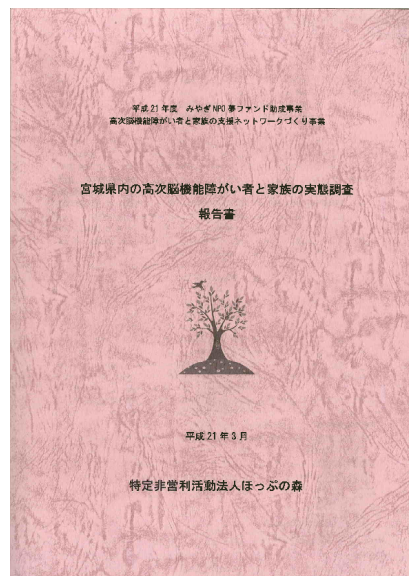
○3月、報告書原稿完成。印刷所に入稿。

報告書完成（添付物参照）

- ・ 88ページ
- ・ 1000部

○調査報告と協力御礼の連絡・次年度事業協力依頼

宮城県障害福祉課へ報告と御礼にうかがうとともに、各保健福祉事務所へ電話連絡を行い、本年度のご協力への御礼と次年度事業への協力依頼を行った。



1年目の成果目標はどの程度達成できましたか。当初目標と比較して記入してください

●申請書に記載した成果目標

アンケート調査によって、宮城県内の高次脳機能障害者と家族のおおよその数的な実態把握ができる。また、特に実態のわかっていない小児の高次脳機能障害者の調査も含めて行うことにより、これまで目を向けられてこなかった部分も明らかにする。

さらに、グループインタビューによって、本人、家族が抱える問題点と課題を把握することができ、その結果を適切な情報提供と支援に結びつける土台づくりをする。また、調査にご協力いただいた各機関とのネットワークができ、次年度の情報提供や支援ネットワーク形成に結びつける。

●目標の達成度、団体に与えた効果

・アンケート調査とグループインタビュー調査の結果、宮城県各地の高次脳機能障害の本人・家族の実態や抱えているニーズを把握することができた。特に、グループインタビュー調査によって個別の家族の状況を生の声で拾うことができたことは大きな成果である。理解しにくい障害特性が、24名の方々のインタビューによって立体的に理解でき、完成した報告書は、すでに支援を行っている者や今後関わろうとする者の障害理解や家族理解に貢献するものとなった。また、調査過程において、本人・家族、行政や福祉サービス事業所等とのつながりが生まれ、支援ネットワーク形成への足がかりができた。

・小児の高次脳機能障害について、グループインタビュー調査において、幼少期から高校時期の受傷による高次脳機能障害の方の家族7名のケースを把握。小児の高次脳機能障害特有の困難さや学校や病院等での周知や啓蒙の必要性など、実態とニーズを把握できた。

・宮城県へ随時相談や報告を行い、調査で浮き彫りになったニーズを伝えてきた。その中で、県の高次脳機能障害支援対策整備推進委員会に特別支援学校や仙台以外の地域の病院関係者も加えることが検討されており、本事業の取り組みにより本人・家族の実態とニーズが把握されたことの成果といえる。また、当法人の高次脳機能障害について就労支援等が県外から注目されるようになっている。

●1年目の事業を通じてみえてきた課題

調査の結果、必要なサービスが受けられないケースや、病院や行政窓口などの初期段階で情報を得られた人とそうでない人では、支援機関とつながるまでに差が出ることや家族の障害への理解も差が出てことが分かった。次年度に作成する広報印刷物が、病院や行政窓口積極的に配布し活用いただけるように投げかけること、配布のプロセスで高次脳機能障害についての啓蒙も行っていくことで、受傷して初期の段階で必要な情報が本人・家族に届くようにする。

また、小児の高次脳機能障害について、当初、養護教諭を通じての学校へのアンケート調査を考えたが、高次脳機能障害という名前さえも知らない学校現場の現状にぶつかり、アンケート調査を行うことが出来なかった。宮城県立こども病院にもヒアリング調査を打診したが、専門に関わっている部門はなく対応が難しいとの返事をいただいた。その一方で、グループインタビュー調査にて7ケースもの事例があったこともあり、宮城県内での支援の必要性を強く感じる。日本初の小児高次脳機能障害支援セミナーや日本脳外傷友の会との関わりから、小児の高次脳機能障害問題の特性、部活動での受傷の問題や文部科学省への働きかけの動きの情報を得た。全国的にも小児の高次脳機能障害へ取り組みが急務であることを改めて認識。他地域の情報や支援を参考にし、次年度は、特別支援学校、特別支援学級等に対してのヒアリング調査を行いつつ、小児の高次脳機能障害の周知と啓蒙に努める。

1年目の収支報告（具体的に記入してください）

### 収入の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	1,000,000	1,000,000	
自己資金	275,000	276,293	
合計	1,275,000	1,276,293	

### 支出の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
人件費	800,000	766,250	
交通費	50,000	107,050	
印刷代	200,000	297,314	
通信費	140,000	50,230	
事務消耗品費	50,000	39,699	
会場費	10,000	0	
ブログ制作費	25,000	15,750	
合計	1,275,000	1,276,293	

2年目（平成22年度）の事業計画・成果目標（具体的にお書きください）

2年目（平成22年度）
<p><b>事業計画</b></p> <p><b>1. 広報印刷物作成</b> 1年目の調査に基づいて高次脳機能障害者の現状や問題点、課題、支援や相談窓口等を読みやすくまとめ、また、ブログへのアクセス方法なども掲載した印刷物を作成する。印刷物は、調査にご協力いただいた各保健福祉事務所や仙台市障害者更生相談所等の相談窓口、病院等関係諸機関に配布するとともに、当事者、ご家族にも高次脳機能障害についての啓発を行いつつ、各機関の協力も得ながら、さらに新しく高次脳機能障害者となった当事者や家族に情報提供を行う。</p> <p><b>2. 報告・研修会の開催</b> 1年目の調査の結果報告という形で、宮城県7圏域ごとに研修会を開催する。はじめに、栗原、気仙沼等々、仙台市以外の地域で、支援のキーパーソンや高次脳機能障害者の受け入れを表明している事業所等に呼びかけ研修会を開催。調査の報告と当事者と家族による講演を行う。最後に、仙台にて研修会を行い、それまでに連携できた全県の関係者に参加を呼び掛け、その場で支援ネットワーク会議（仮称）づくりの呼びかけを行い、次年度の組織形成につなげる。</p> <p><b>3. ブログの充実</b> 調査結果を1年目で作成したブログに掲載。さらに内容を充実させ、専門家等のアドバイスや機構をお願いし、ネットワークを広げる。</p> <p><b>4. 小児の高次脳機能障害の実態把握</b> ブログや各地の報告・研修会にて、小児の高次脳機能障害についての啓発を行うとともに、特別支援学校、特別支援学級等へのヒアリング調査を行いつつ、そのプロセスで小児の高次脳機能障害の周知と啓蒙に努める。</p>
<p><b>この年の成果目標</b> 広報印刷物の配布や報告・研修会の開催等を通じて、一年目の調査結果から、その地域にある人的及び社会的資源を生かしながら、7圏域ごとの高次脳機能障害者の包括的支援体制づくりを目指す。体制づくりのきっかけとして、報告・研修会を開催し、支援される側とすでに支援している人及びこれから支援者となりうる人の集う場とし、その場で当事者・家族自身が自らの思いを語ることで、他の当事者・家族、支援者をエンパワメントする。そこから、互いに顔の見えるつながりを各地で形成する。そうして出来た各地域のネットワークを、さらに大きくつなぐ宮城県の高次脳機能障害支援のネットワークを形成し、3年目の組織化につなげる。また、小児の高次脳機能障害について、特別支援学校、特別支援学級等へヒアリング調査を行うとともに、そのプロセスで小児の高次脳機能障害の周知と啓発を行う。</p>

3年目（平成23年度）の事業計画・成果目標（具体的にお書きください）

3年目（平成23年度）
<p>事業計画</p> <p><b>1. 宮城県高次脳機能障害ネットワーク会議（仮称）の発足。</b> 前年度の事業の成果をもとに、宮城県高次脳機能障害ネットワーク会議を発足。恒常的な情報の受け皿として、また、情報の発信源となる組織を立ち上げる。</p> <p><b>2. 本人、家族の交流会の実施</b> 当事者、家族の交流会を県内7圏域ごとに行い、自分たちの抱える問題点や課題を出し合い、互いにエンパワメントされる場とする。また、出された問題や課題を政策提言としてまとめ、国や県に提言する。</p> <p><b>3. 小児の高次脳機能障害者の調査経過報告</b> 1年目の調査で明らかになった宮城県内の小児の高次脳機能障害者の実態が、2年の経過を経てどのような変化があったか、まとめて報告する。</p>
<p>この年の成果目標</p> <p>宮城県高次脳機能障害ネットワーク会議（仮称）を設立する。 このネットワークにつながることで、国や県で行われているさまざまな高次脳機能障害者へのサービスや法の改正等の情報が、確実に個々に行き渡ることができるようになる。 小さな地域での交流会を重ね、地域で高次脳機能障害者と家族が孤立しないように、家から30分県内で相談し合える場やつながりの形成に寄与する。 同時に、高次脳機能障害者と家族の意見をまとめ、小児の実態調査の経緯も含め、宮城県としての地域性にあった政策を国や県に提言する。</p>

2年目・3年目の収支予算

収入の部

2年目（平成22年度）		3年目（平成23年度）	
助成金	1,000,000円	助成金	1,000,000円
自己資金	280,000円	自己資金	250,000円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
	円		円
計	1,280,000円	計	1,250,000円

支出の部

2年目（平成22年度）		3年目（平成23年度）	
人件費	288,000円	人件費	750,000円
印刷物制作費	500,000円	印刷代	200,000円
Web管理費	60,000円	Web管理費	60,000円
通信費	120,000円	通信費	100,000円
交通費	50,000円	交通費	100,000円
会場費	42,000円	会場費	20,000円
雑費	20,000円	事務消耗品費	20,000円
講師謝金	200,000円		円
	円		円
	円		円
	円		円
計	1,280,000円	計	1,250,000円

経費についての補足説明（内訳など）

人件費 アルバイト1名 288,000円 @800円×月30時間×12カ月 印刷物制作費 10ページ程度×10,000部 WEB管理費 月5,000円×12カ月 通信費 月10,000円×12カ月 講師謝金 仙台圏域以外6か所分 120,000円 仙台圏域 80,000円	人件費 常勤職員1名 390,000円 @1250×月26時間×12カ月 アルバイト2名 360,000円 @750×月20時間×12カ月×2名 Web管理費 1カ月5000円×
---	---